

会 議 概 要

会議の名称	第1回 湧別町庁舎等検討委員会（基本計画）
開催日時	令和6年1月10日（水） 14時55分 開会 16時30分 閉会
開催場所	上湧別コミュニティセンター 2階大会議室
出席者名	委員：高橋直司委員、岩佐雅弘委員、八巻武則委員、 菊地厚委員、森義文委員、柴田洋幸委員、北村茂委員、 篠田悟委員、宮澤道委員、角矢賢矩委員 町：刈田町長、斉藤企画財政課未来づくり担当課長、 企画財政課 渡辺主幹、北林建設課長、細川建設課参事、 建設課 宇佐美主幹、藤主幹 事務局：石塚総務課長、中川主幹、榎本主事
欠席者名	無し
傍聴人の数	2名
会議の内容	○委員委嘱状交付 1 開会 2 委員長及び副委員長の選任 （諮問書の交付） 3 議題 4 その他 5 閉会
会議資料	別紙のとおり
会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 （ <input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 ） <input type="checkbox"/> 無
備考	

会 議 録

結果要旨

(1) 開 会

①町長あいさつ

- ・基本構想の策定に向けて検討委員会（基本構想）からいただいた答申を基に、令和7年3月末で閉校となる中湧別小学校の跡地に庁舎を集約するなどという内容の基本構想を昨年7月に策定。
- ・基本構想に基づき中湧別小学校敷地内への庁舎整備、及び閉校となる中湧別小学校校舎の活用について、基本計画の中で方向性を示していきたいので、協議していただきたい。

②委員自己紹介

各出席委員より自己紹介

③職員自己紹介

各出席職員より自己紹介

(2) 委員長及び副委員長の選任

委員長に高橋委員、副委員長に柴田委員が推薦され、賛成多数により決定。

委員長選任後、町長から委員長へ諮問書の交付が行われた。

(3) 議題（総務課長より資料を説明）

□庁舎等集約化基本構想の説明

【意見・質疑】

□庁舎の面積について

○新庁舎の面積（3,500 m²）について想像が付かないが、先日、2050年に町の人口が現在の半分程度になると示され、それらのことも勘案したうえで面積を算定したと思っている。今後協議する中で面積が適正か否か検討していくのが望ましい。

○他の市町村であれば、災害時の炊き出しの拠点に食堂を活用するだとか、職員の昼食を取る場であるとか、町民が利用する飲食店というのがあるなど感じたが、基本構想（P. 33）に記載されている庁舎の面積の内訳について、その中で面積が示されていない売店、食堂及び喫茶室は、整備する予定はないということではよろしいか。

→事務局) 最低限のもの整備を予定しているため、現状、それらの整備は予定しない。

○待合ロビーや情報展示コーナーの広さなどは、他の施設を見てみないと想像がつかない。多目的スペースは、休日の開放を考えているか。

→事務局) 最近整備した庁舎の中にはメインの玄関とは別に休日専用開放する玄関を設置しているところがあり、本町では、確定申告時や選挙の期日前投票時に使用するスペースなどは検討している。

○新庁舎の面積の想像がつかず、現時点で適正か否は判断できないため、今後の協議を通して判断するほうが良い。

→事務局) 今後の予定として、次回は、管内で最近建設した庁舎の視察を行いたいと考えている。それらを踏まえて検討していただきたい。

○視察先は小清水町や津別町を検討しているか。

→事務局) 今後、視察先の自治体と日程調整を行う予定だが、視察先は、複合施設となっている小清水町ではなく、本町で整備を予定している庁舎機能に近い美幌町と津別町を予定している。

○小清水町の現在の人口は、2050年に推計される本町の人口と同規模となっていることから参考になると思う。

先日、北海道新聞で温泉資源を活用した小清水町役場についての特集記事があった。その中で役場がお金を稼ぐことが伺えた。24時間営業のコインランドリー、ジムやカフェなどをコンパクトにお金をかけずに作り、365日24時間開けて、他の町村からコインランドリーを利用しにやってくる。また、ジムを設置することで賃貸料が入るという様に。カフェがあればちょっと寄れたり、イベントの開催が計画されたりもするのではないかと考え、これから整備する庁舎とは異なるような庁舎を見ておくのも参考になるのではないかと感じる。

○町民の半分が女性という中で、役場が選ぶと今回委嘱された委員さん方の年代の男性が多数を占めてしまう。私は、恐らく委員の中に女性がいないだろうと思い、また、どのような内容で決まっていくかを知りたかったので、公募で応募した。

今回委嘱された委員さんを見ると、改選前の行政改革推進委員の方が半数を占めている。将来のある若い人や湧別町に住んだばかりの方々の意見を聞かなければならない。

→委員長) 基本構想を策定した際の検討委員会では若い人がおり、それらの方々の意見も踏まえて基本構想を策定している。その構想を基に基本計画を策定していくこととなることはご理解いただきたい。

事務局) 今回の基本計画の策定にあたっては、もちろん町民説明会を開催し、パブリックコメントを実施し町民の皆様から広くご意見をいただく。

(4) その他

①次回会議日程について

次回は管内で新たに建設された庁舎の視察を行うこととし、視察先との調整後あらためて通知することとした。